

投稿・執筆規定

〔2024年3月31日改訂〕

1. 『一般社団法人愛知県臨床工学技士会誌・会報』では、生体計測、機器の安全管理および開発に係る総論、研究論文、研究速報、技術開発、症例報告、技術報告、教育・安全など、他誌に未発表の原稿を掲載します。
2. 投稿者は、原則として本会員とします。ただし、依頼原稿の場合はこの限りではありません。
3. 投稿原稿の採否は、編集会議で討議して通知します。また、投稿規定に従い、原稿の加筆、訂正、削除などをお願いをする場合があります。
4. 原稿提出の基本
 - 1) 原稿4枚で刷上り1頁になります。図と表は、それぞれ1枚が原稿1枚分に相当します。
 - 2) 原稿の大きさは、A4判(縦使用)横組み、1行23字×25行(575字)に設定してください。
 - 3) 提出原稿は、原則として漢字混じりひらがな日本語で、常用漢字および現代かなづかいを使用し、フォントはすべてMS明朝体にしてください。
 - 4) 原稿枚数は規定しませんが、図表の合計は10点以内を目安にしてください。
- 5) 提出書類
 - (1) 研究論文、学術大会発表論文の場合
 - a. 論文本文
Wordなどの文章作成ソフトにて作成した論文の電子ファイル
 - b. 論文中の図表
Word、Excelなどのソフトで作成した図表データ
 - c. 進行表
 - d. 原稿投稿時チェックリスト(共著者2名以上の署名)
 - 6) 進行表、原稿投稿時チェックリストは当学会ホームページの「当会のご案内、投稿規定」からダウンロードしてください。記入後、PDFファイルに変更後ご提出ください。
5. 投稿原稿の1頁目には、次の事項を記載した表紙を付けてください。
 - 1) 題名
サブタイトルには、前後にダブルハイフン(——)を付けてください。
 - 2) 施設名・所属
所属の異なる場合は改行し、先頭に1)、2)の番号を付けて記載してください。
 - 3) 著者および共著者
所属の異なる場合は、名前の右端上に、名前1)、名前2)のように番号を付けて区別してください。
- 参考文献として使用される場合、共著者が3名以上のときには、最初の2名(著者を含む)と、最後の1名が通常記載されますので、共著者の記載順位には特に留意してください。
- 4) 連絡先
筆頭者の郵便番号、住所、所属、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを記載してください。
6. 要旨と索引用語
原稿の2頁目には、結果を簡潔にまとめた460字(23字×20行)以内の要旨(和文)と索引用語(Key words)を記載してください。
(注… Key wordsは5用語以内とします。ただし、1用語は日本語10字以内、英語3word以内です。)
7. 原稿執筆の順序(原稿の3頁目から)
 - 1) 見出し番号は、以下のようになしてください。
 - I. ===== 見出し
 1. ===== 小見出し
 - (1) =====
 - 2) 研究論文、研究速報および症例報告の記載は、以下のようになしてください。ただし、研究方法については、対象、症例、方法は別々でも構いません。
 - I. 緒言 (はじめに、まえがき)
 - II. 研究方法 (対象、症例、方法)
 - III. 研究結果 (結果)
 - IV. 考察
 - V. 結論 (結語、まとめ、おわりに)
8. 参考文献の記載方法
本文中の参考文献番号は、右肩付文字で下記の要領で記載してください。共著の場合は、その氏名を3人(最初の2名と最後の1名)とし、3名以外の扱いは、[例] 3人目の氏名、ほか:]と記載してください。
 - 1) 文献の本文中への番号記入例
 - (1) 文献が単一の場合
→ 山田らの報告では¹⁾
 - (2) 文献が複数の場合
→ 赤血球変形亢進については^{1, 2, 6)}
 - (3) 文献が連続で複数の場合
→ 一般的に言われている⁷⁻¹⁰⁾

2) 参考文献の書き方

(1) 雑誌の場合

著者名、共著者名、共著者名、ほか：論文題名、雑誌名、巻(号)；初頁-終頁、発行年。

例 酒井 敬、榊 成彦、早田展章、ほか：
急性心筋梗塞を合併した左室破裂の治療と予防。日胸外会誌、46(12)；p1039-1042, 1992.

例 Kopp KF, Gutch CF, Kolff WJ, et al. :
Single needle dialysis. Trans Am Soc
Aretif Intern Organs, 18 ; p75-90, 1972.

(2) 単行本の場合

著者名：書名、版、出版地、出版社、発行年、
初頁-終頁。

例 内野順司：水処理の実際、血液浄化療法
「上」基礎理論と最新臨床応用：126-132、
日本臨床社、2004

例 草川 實 編(または監)：体外循環の実際、
初版、東京、南江堂、1991. p5-22、
p197-206.

例 Pichlmayr RJ : Liver transplantation
and impendig hepatic failure. Pichlmayr
RJ (.ed by Schmidt FW.) ; Liver
transplan-tation and hepatic failure.
Berlin, Springer-Verlage. 1981. p322-348.

9. 図表の規定(写真は図として扱う)

- 1) 図と表は、1枚が原稿用紙1枚に相当します。縮小・拡大した後、雑誌に掲載された時点で、本文の文字より少し小さめになるように、文字・数字を入れて作図してください。
- 2) 図表に使用する文字は、すべて MS 明朝体を使用してください。
- 3) 図と表は、パソコンによる作図とし、汎用アプリケーションに貼り付けて提出してください。
- 4) 表の大きさは、1頁以内に収まるものとしてください(天地 218mm×左右 154mmを最大とする)。
- 5) 表の縦の罫線は、原則として省きます。横の罫線もできる限り省略してください。行間は、本誌の行間と同じ程度(2mm)にしてください。
- 6) 写真は、ファイルの種類を JPEG とし、製本時の白黒グレースケールへの変換と明暗調整に留意して作成してください。また、矢印、スケールなどは、図表の中に焼込むか、または直接に書込んでください。
- 7) 図表の掲載位置は、およその場所を本文中の右欄外に、図1、表1の様に赤のペンで朱記してください。
- 8) 図表は、原稿用紙1枚にそれぞれ1枚ずつ印刷し、表題は、図は図の下に、表は表の上に、また、表の注釈は表の下にそれぞれ記載してください。更に、

各表題は別紙にまとめ、下記のようにそれぞれ通し番号を付けて図表表題一覧を作成してください。

例 図1 血液回路
図2 患者各部の温度変化
表1 患者背景
表2 血液浄化器の仕様

10. 原稿の送付

- 1) 原稿は第一選択として下記送付先E-mailアドレスへ、前述の提出書類を添付ファイルとしてお送りください。メール本文中に、題名、施設名、施設住所、所属、著者および共著者氏名、連絡先、メールアドレスをご記載ください。
- 2) 送付された原稿が編集委員会に届き、提出書類の確認をもって、論文受領日とします。
- 3) 送付していただいた投稿原稿は著者に返却しません。編集委員会で責任をもって処分させていただきます。
- 4) 電子メールでのご投稿が不可能な際は、下記原稿送付先へご連絡ください。

11. その他の注意

- 1) 当学会投稿査読中に他の学会誌、商業誌などへ同内容の論文や記事を投稿しないようお願いいたします。海外学会誌への投稿も同様です。
- 2) 図にメーカーカタログの写真を転用される場合は必ず許可を得て、図の注釈に引用先を明示してください。また他誌、Webからの図表の引用も必ず製作者、著者の許可を得て、引用先を明記してください。
- 3) 医療機器、診療材料などの臨床使用評価や性能比較報告の際は、メーカーの営業活動を妨害しないよう配慮した作成と「産学連携」について明示してください。

<原稿送付先>

一般社団法人 愛知県臨床工学技士会 編集委員会
E-mail アドレス : hensyu@ai-ces.jp.org